

「地盤工学会誌」 読者アンケート集計結果

「地盤工学会誌」9月号 (Vol.64 No.9)

特集テーマ: 海外工事における地盤工学の現状と課題

回答人数: 33人 / 50人中 回答率 66%

① 最も興味深かった記事について

【1位】 論説: 海外工事における契約管理の観点からみた地盤リスク対応

【2位】 総説: 海外工事における地盤リスク対応の現状と展望

【3位】 報告: アジアにおける地下鉄建設事例と地盤リスクへの対応

② 自由意見欄

I 記事に対するご意見

1	CIM の内容について、基本的な内容を紹介いただいております、業務等にも活かすことができるかと思っております。
2	技術紹介「円筒金網とチェーンを用いた災害復旧工法」について、従前、多くの現場で採用されてきた大型土のうの劣化・耐久性の課題を改善された新工法の報告で、災害対応現場の従事者に、大変、有益な紹介でありました。今後の拡大展開が期待される工法と思われました。
3	アジアのインフラを整備することは日本にとって責務であると思います。私のようにこれから土木業界で働く人間にとって非常に興味の内容でした。
4	海外工事における地盤リスクがとてわかりやすく、理解が深まった。
5	海外事業では、工期やコスト管理とともに地元対応が重要になってくる。地元に着目した対応ができるかどうかポイントと考える。
6	海外工事に携わる場合、実務において、日本の技術者が遂行している内容に加えてリスクを事前に回避するための準備が必要になると感じた。そのため、海外の技術者は日本の技術者より多忙になるはずであるが、バカンスを重視する国々もあり、日本人が働きすぎであると言われている。仕事の絶対量が違うのかもしれないが、海外の技術者の仕事への取り組みについて興味湧いた。
7	海外工事における契約管理のあり方については見聞きするが、地盤工事が有するリスクへの対応という視点が新鮮だった。
8	海外工事における契約管理の観点からみた地盤リスクについて興味深く拝読させていただきました。
9	日揮など、実際に EPC 事業を海外で行っている企業による執筆があっても良いのではないかと思います。

10	CIMの記事は興味深いものがあつた。地方自治体でも早期活用を期待したい。
11	海外工事に焦点を当てられたことは効果的だと思います。東南アジア各国での工事例も多方面から報告されており、契約関連に関する情報としても参考になると思います。
12	工事運営に関する具体例が多く、興味を持てた

## II 今後取り上げてほしい記事

1	仮設土留工の失敗事例
2	1978年11月号に世界の特殊土という特集が組まれていましたが、地盤工学会らしくその後の特殊土の克服度合に関する報告（たとえば、昔はこういう土質に対してこう難儀していたが、今はこういう工法の開発によって問題は緩和されている）があると面白いと思います。
3	土木技術の育成について
4	海外事業の地盤工学的展開、とくに調査関連記事
5	契約管理面からの地盤リスクについて、また、情報があれば拝読させていただきます。
6	地盤工事におけるIT技術の進展、CIM活用事例の紹介など
7	近年における乱さない試料の採取方法
8	地熱発電にかかわる地盤調査や工事について。
9	地盤の視覚的な把握を試みている研究があれば見てみたいです。
10	・斜面安定の経年変化、強度低下 ・豪雨災害を考慮した性能指標、設計手法 ・土構造物の耐震設計の最近の話題 ・軽量盛土に関する新工法
11	設計事例や調査事例など、事例等を多く記載いただくとありがたいと思います。